

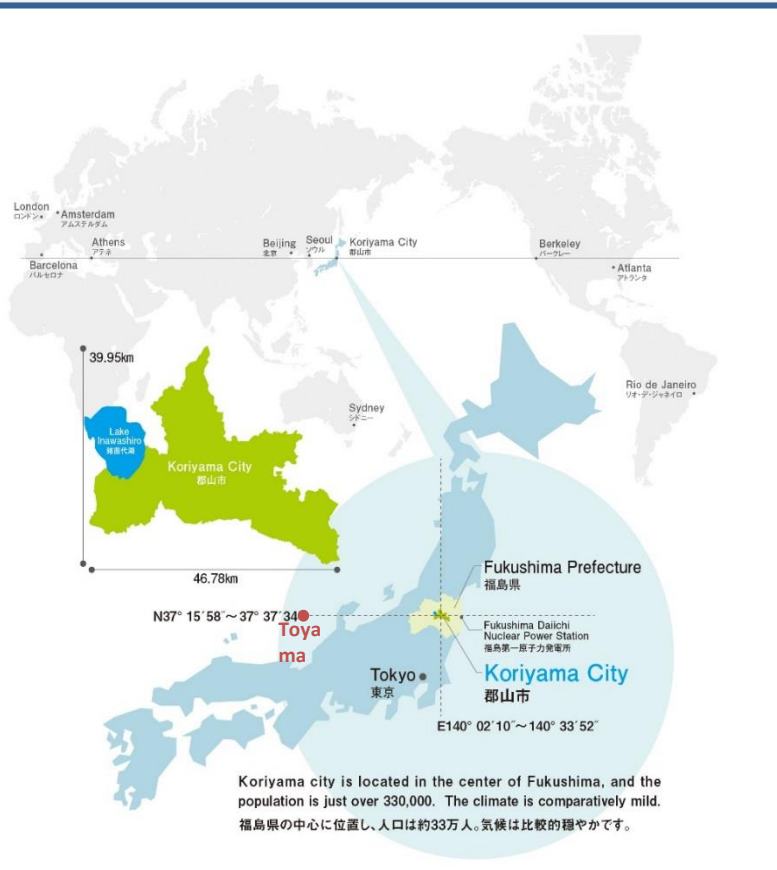


郡山市の取組み

郡山市長 品川 萬里

郡山市の概要

- ✓ 市制施行1924年(大正13年)
- ✓ 人口335,767人、東北第3位の規模
(平成28年10月1日現在)
- ✓ 「音楽都市」
(音楽関連主要全国大会で数多くの受賞実績)
- ✓ 「福島県のハブシティ、東北観光のゲートウェイ」
(高い交通の利便性、東京から東北新幹線で77分)
- ✓ 「開拓者精神」
(安積開拓と疏水の開削、日本遺産への登録)
- ✓ 「知の宿場町」
(再生可能エネルギーと医療機器関連産業の集積、産学官連携の取り組み)



日本遺産登録

未来を拓いた「一本の水路」—大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代—

本市発展の礎である安積開拓及び安積疏水開さく事業や日本有数の観光資源である猪苗代湖をテーマに申請し、認定となりました。



市民総活躍で郡山創生の深化を目指す

～復興力の維持・強化～ 地域をみがき 人が輝く郡山の創生

I 被ばく防護対策

- ・徹底した健康管理
- ・さらなる復興の加速化

VIII インフラ・交通体系の整備

- ・災害発生時の強靱なインフラの整備
- ・交通体系形成を推進した都市力の向上

II 産業の活性化

- ・産学金官が連携した中核拠点の形成
- ・「雇用の質」の確保

VII 教育環境の充実

- ・グローバル人材の育成の推進
- ・生涯学習環境の整備

○バックキャストによる課題解決
○Society Koriyama 5.0

III 定住・交流人口の増加

- ・「まち」の魅力を高める施策展開
- ・「音楽都市こおりやま」の更なる推進

VI 健康長寿社会の実現

- ・2025年問題を見据えた高齢者施策の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築

IV 子育て支援・女性の活躍推進

- ・若い世代の希望の構築
- ・ライフステージに応じた切れ目ない支援

V 安全・安心なまちづくり

- ・セーフコミュニティの推進
- ・連携中枢都市形成を視野に入れた連携

取組1 「知の宿場町」

産学金官の力を集結 新産業の創出など新たな価値の創造

ふくしま医療機器開発支援センター

2016年11月7日開所

医療機器の安全性評価、企業のマッチングや
コンサルティング等を行う



国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(FREA)

2014年4月開所

再生可能エネルギーの研究拠点



取組2 WHOのセーフコミュニティ認証取得

国際基準の安全安心都市を目指して

WHO(世界保健機関)地域安全推進協働センターが推進する、安全・安心なまちづくりの国際認証制度であるセーフコミュニティの2017年度(平成29年度)の認証取得を目指しています。



重点的に取り組む分野、課題などを協議



セーフコミュニティを進める6分野

- 1 交通安全(子どもと高齢者の交通事故予防)
- 2 こどもの安全(家庭や学校での安全、児童虐待防止)
- 3 高齢者の安全(転倒によるけがの防止、高齢者虐待防止)
- 4 自殺予防(自殺、うつ病の予防)
- 5 防犯(防犯力の向上、DV防止)
- 6 防災・環境安全(地域防災力の向上、生活空間の安全)

取組3 果樹農業6次化プロジェクト

地域と連携し、福島における果樹農業の新たなモデルを創る

公益財団法人三菱商事復興支援財団と連携し、「果樹農業6次産業化プロジェクト」を開始します。果樹の生産、加工、販売を一連のものとし、地域農業者と連携した果樹農業の新たな6次産業化モデルの構築、地域の賑わいの創出を目指します。



逢瀬ワイナリー

1

1次産業（農業生産）

規格外の生食用果実の利活用を図る

2

2次産業（加工）

加工商品（ワイン等）の醸造技術・ノウハウを蓄積する

3

3次産業（流通・販売・ブランディング等）

製造された加工商品の販路を開拓する

4

6次産業化モデルの確立

果樹農業をベースとした新たな地域産業を創出

取組4 新たな財源の確保 ①

公共施設の有効活用 ～遊休市有地の活用～

遊休市有地の貸付、使用許可等により、新たな財源の確保に努めています。

郡山総合地方卸売市場用地活用事業者の公募

- 対象地
市場内の約7,600㎡
- 使用期間
10年
- 公募方式
公募型プロポーザル
- 使用料
最低価格を設定した上で、相手方の提示した使用料
- 建設可能建築物
卸売市場法に適合する建物

取組4 新たな財源の確保 ②

公共施設の有効活用 ～ネーミングライツの付与～

「ネーミングライツ」の付与により、新たな財源の確保と施設の知名度、集客力、サービスの向上を図ります。スポンサーのメリットとして、企業名や商品名の宣伝効果が期待でき、企業が地域の活性化を支援しているなどのイメージアップにもつながります。

【平成28年度実績】

- ・施設
開成山野球場
- ・愛称
ヨーク開成山スタジアム
- ・ネーミングライツスポンサー
株式会社ヨークベニマル
- ・ネーミングライツ料
510万円／年度

【今後の予定】

- 平成28年度
開成山屋内水泳場
- 平成29年度
郡山市民文化センター
開成山陸上競技場
郡山総合体育館



取組5 総合的な都市力の向上 ①

利用しやすい交通体系の構築と総合的な浸水対策・公共施設の強靱化

郡山富田駅
(イメージ図)



利用しやすい交通体系の構築

- 郡山富田駅の新設
- スマートインターチェンジの設置
- 幹線道路の整備(環状道路の整備)

「交通の要衝」の機能強化

総合的な都市力の向上

防災・減災体制等の強化

総合的な浸水対策・公共施設の強靱化

- 雨水対策関連事業
- 公共施設の長寿命化事業
(公共施設等総合管理計画関連)

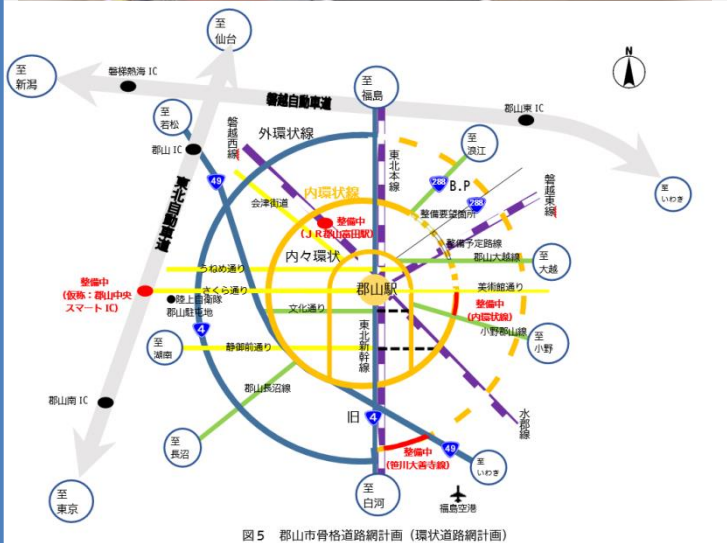
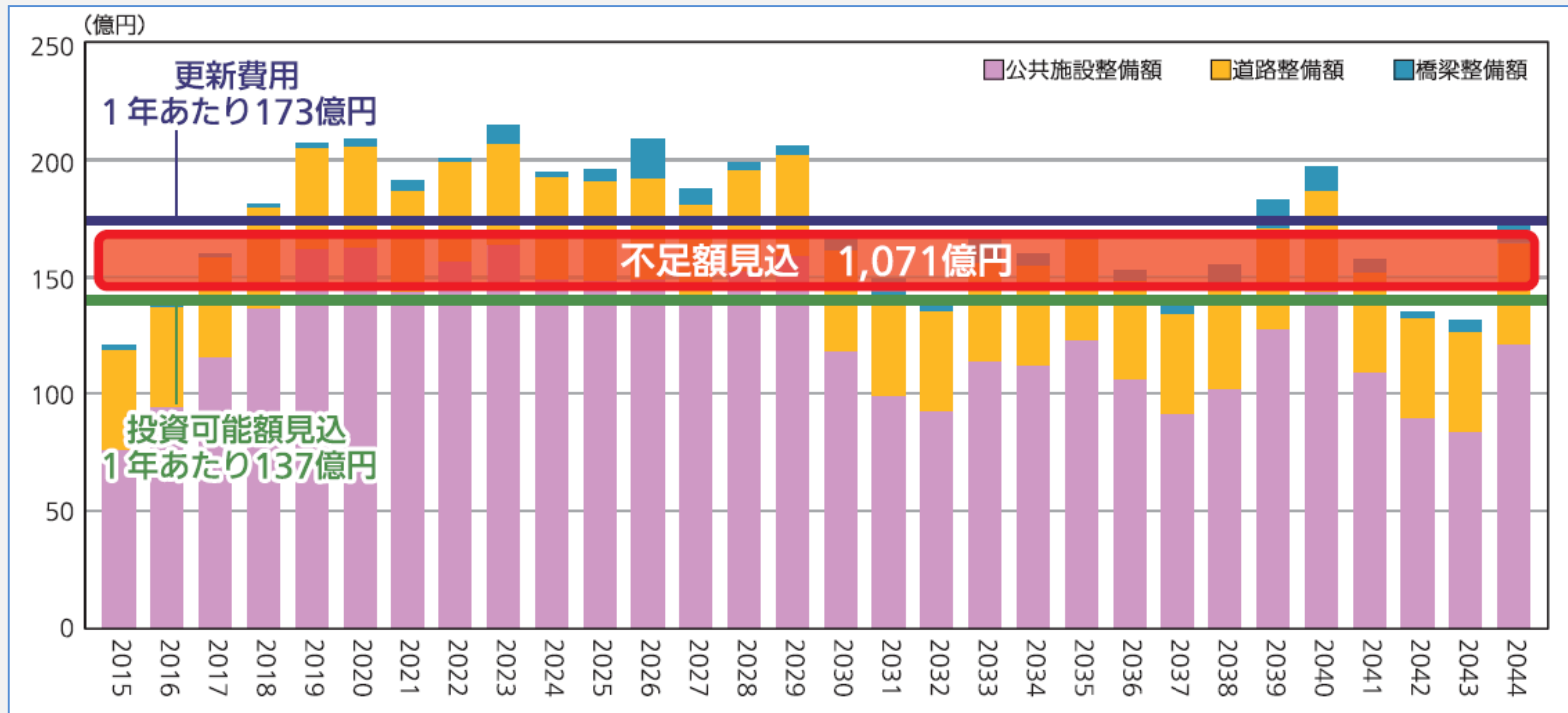


図5 郡山市骨格道路網計画(環状道路網計画)

取組5 総合的な都市力の向上 ②

公共施設の強靱化に関して(公共施設等総合管理計画より)



- ①施設の総量縮減（「複合化」、「多機能化」）によるコスト縮減
- ②施設の「長寿命化」によるコスト縮減
- ③資産活用による財源確保や維持管理費の縮減
→PPP/PFIの推進（民間ノウハウによる収益増加、運営費の圧縮）

取組5関連 ユラックス熱海ESCO事業

設備等の大規模改修にあたっての工夫

郡山ユラックス熱海

- ・多目的ホール
- ・会議室
- ・健康温泉
- ・温水プール

からなる観光施設

年度	利用者数
平成25年度	317,341人
平成26年度	337,744人
平成27年度	396,042人

平成元年建設

↓
設備等の老朽化

↓
大規模改修が喫緊の課題

全景



健康温泉



ESCO事業手法の採用

- ・民間事業者のノウハウの活用
- ・省エネルギー改修経費を光熱水費の削減分で賄う

